

全国の看護師さんが納得した(*p2参照)
抜群の密着性が子どもの呼吸を守ります。

ハイラックKIDSシリーズ

対象年齢5~12歳

インフルエンザなどの感染予防やPM2.5などの吸入予防に



ハイラックKIDS
スタンダードタイプ



ハイラックKIDSかからんぞ

呼吸の楽な 排気弁付タイプ

息を吐くときは弁を通すから、
息がこもりにくい。呼吸が楽。

家族やお友達へうつさないために

患者さん専用



ハイラックKIDSうつさんぞ

吸気弁付タイプ

インフルエンザなどにかかってしまった時に
使うマスクです。

咳やくしゃみはフィルターでブロック。

息を吸うときは弁を通すから、
患者さんの呼吸の負担がやわらぎます。

かからないために、
うつさないために。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 興研株式会社

顔とマスクの間にスキマができては意味がない 子どもを守るフィットクオリティ

どんなに高性能なフィルターを使ったマスクでも、顔とマスクの間にスキマができていれば、ウイルスやPM2.5はそのスキマから入り込み、結果、吸い込んでしまいます。どんなところにスキマができてやすいのでしょうか？

スキマができてやすい3大箇所

鼻の脇

ほほ

あご



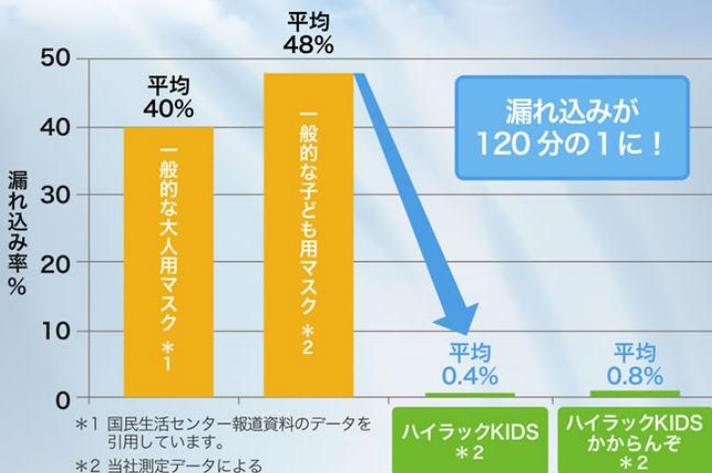
スキマをできにくくする 2つの機能



当社オリジナル設計のFFリップ(フリーフィットリップ)は、子どもの顔にピッタリの3次元形状。

さらに、耳かけ紐が調節できるから、より一層、スキマができにくくなります。

【マスクと顔の間にスキマがあるか調べる実験】



全国の結核病棟などで働く看護師さんを中心に、専用の試験機を用いて漏れ込み量を測定していただいています。すでに7万人以上*の方に体験していただき、ハイラックの密着性に高い評価をいただいています。

*2013年8月現在



一般的なサージカルマスクでは空気中の粉じんの48%がマスク内に入り込んでしまったのに対し、ハイラックKIDSではわずか0.4%！マスクと顔のスキマを激減できているのが分ります。(小学生15名を対象とした実験です)



プロが使うものと同等の性能

感染症棟などで働く看護師さん等が使用するマスクには高い防護性能が求められます。日本では厚生労働省が、米国ではNIOSHが規格を定めており、ハイラックKIDSのベースとなる大人用のハイラック350は、それぞれの規格のDS2/N95に合格しています。

ハイラックKIDSは子どもの呼吸量に合わせた、当社独自に定めた基準^(p4参照)で評価した時にDS2/N95に相当する性能を持っています。

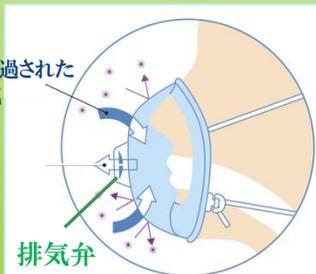
	ハイラックKIDS	ハイラックKIDS かからんぞ	ハイラックKIDS うつさんぞ	ハイラック350 (参考)
捕集効率* (60L/min)	98.67%	98.23%		98.35% (85L/min)
吸気抵抗 (28L/min)	35 Pa	40 Pa	16 Pa	35 Pa (40L/min)
排気抵抗 (28L/min)	35 Pa	19 Pa	40 Pa	35 Pa (40L/min)

* 国家検定やNIOSH規格で使用されるNaCl粉じん(0.06 μ m~0.1 μ m)を使用しています。

Q 高性能マスクは息苦しくないの？

A 確かに多少の息苦しさはあります。ただし、苦しくないマスクといっても、マスクと顔の間にスキマができて、そこから空気を吸っているから呼吸が楽ということが多いためです。スキマが無い状態で比べた時に、ハイラックKIDSは息苦しさはあまり高くないのですが、もっと苦しくないものをお望みの時は「**ハイラックKIDSかからんぞ**」をお使いください。排気弁がついており、そこから息が外に出ますので、マスクのカップ内に息がこもりにくく、呼吸が楽にできます。

フィルターでろ過された
クリーンな空気

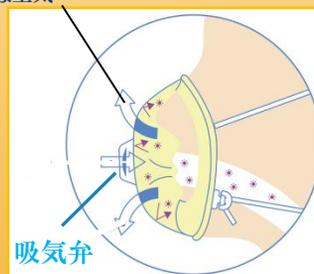


Q 「ハイラックKIDSうつさんぞ」って何？

A インフルエンザなどにかかってしまったとき、他の人にうつさないために使う**患者さん専用のマスク**です。

吸う空気は吸気弁を通して入ってくるため、患者さんの呼吸負担を和らげながら、咳やくしゃみの飛沫は高性能フィルターでしっかりとブロック。密着性に優れたハイラックだからこそ実現できる機能です。

フィルターでろ過された
クリーンな空気



子どもを科学したハイラックKIDS

子どもに適したマスクを作るため、子どもの呼吸量等を徹底調査

産業用や医療用マスクには日本やアメリカなど各国が決めた規格*1がありますが、子ども用の規格はありません。

子どもの呼吸量に合ったマスクをつくるために、マスクのプロとして、フィルター性能を評価する基準作りから始めました。

*1日本の防じんマスクの国家検定規格DS2や
米国労働安全衛生研究所(NIOSH)認定 N95など
(産業用マスク等の規格)

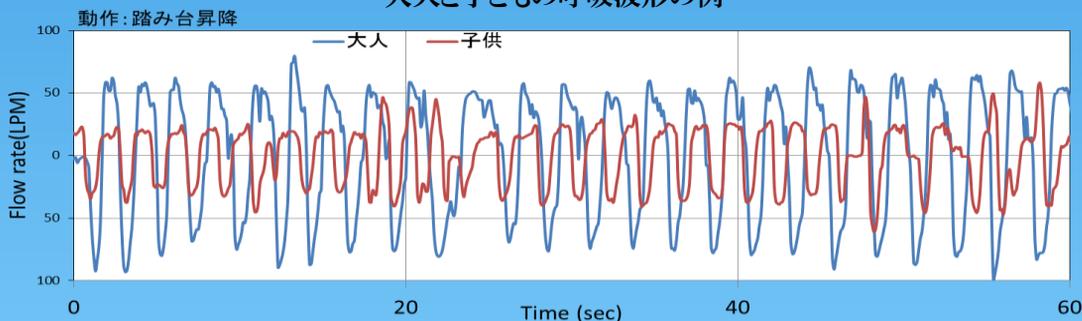
今まで、子どもの日常生活の呼吸波形を解析した事例はありません。

弊社独自に開発した呼吸サンプリング装置*2を用い、子どもの様々な動きをシミュレーションして、呼吸波形を測定しました。

得られた呼吸波形と被験者背景、心拍数、運動強度などから、呼吸量を解析し、評価基準を求めています。

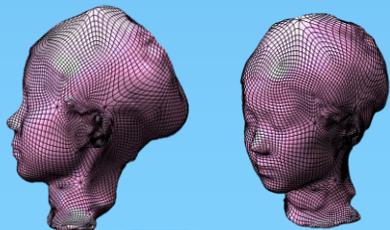
※2 当呼吸サンプリング装置は米国の検定・研究機関にも採用されています。

大人と子どもの呼吸波形の例



子どもにぴったり合ったマスクを作るため、子どもの顔サイズを徹底調査

小学生3Dデータ例



3Dスキャニングで子どもの顔面形状をモデル化し、マスクサイズを設計するとともに、子どもの顔とマスクの間のスキマをできにくくするFFリップを開発しました。



当社オリジナルFFリップ

予防はまず手洗い、そしてマスク...

そのマスク、お顔にフィットしていますか？

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

ライフセーフティディビジョン

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

Tel 03(5276)1917 Fax 03(3261)0589

URL: <http://www.koken-ltd.co.jp>

営業所 TEL
北海道 011(832)3911
仙台 022(374)0420
新潟 025(255)0121
千葉 043(293)0411
熊谷 048(524)2928
東京 03(5276)8063
横浜 045(242)6566
名古屋 052(753)7872

大阪 06(6326)9223
北陸 076(298)1010
神戸 078(511)0414
倉敷 086(423)2321
広島 082(283)7880
四国 0897(34)8927
九州 0942(38)1651
崎 095(844)8406